

日本
共産党

八幡市議会 報告ニュース

2018年5月13日 No.640

日本共産党八幡市議会議員団（983）2005

くらしの相談 お気軽に

| | |
|--------|----------|
| 山本邦夫市議 | 982・8844 |
| 巖 博市議 | 982・9663 |
| 亀田優子市議 | 982・1277 |
| 中村正公市議 | 983・8312 |

市議団メール jcp-ywta@am.wakwak.com

男山
団地

エレベーター 追加設置へ URが市に連絡 B38、39棟に 2020年3月供用



工事が始まった B42、44、45棟。2019年2月供用



新たに設置される B38、39棟。2020年3月完成。

市民と日本共産党の運動で一歩前進

UR・都市再生機構は、八幡市・男山団地（約4500世帯）で、第2次分としてエレベーターを新たに2棟7基（B38、39棟）に設置することを明らかにしました。4月末に現地で説明会が開かれました。

男山団地では5階建ての住棟にはエレベーターがなく、高層住宅にしかありませんでした。対象戸数はわずか170戸です。

これまでの運動で、来年2月にB42、44、45棟に計10基のエレベーターが設置されることになり、現在、基礎調査を終えてエレベーター設置に向けた工事が始まっています。URから市への連絡によると、さらに、2020年3月にはB38、39棟にも7基のエレベーターが設置されます。政府の補正予算にエレベーター設置補助が計上されました。

4階、5階に住む高齢者から、階段の昇り降りがきつくて外出もままならないという相談も寄せられていました。日本共産党は住民の声に耳を傾け、議会での論戦、URや国土交通省への働きかけを続けてきました。日本共産党と市民の運動が実り、一歩前進です。

近隣、雨水被害など安全対策は？

の抑制対策が必要で、工事の安全対策、雨水被害などの抑制対策が必要で、

されたわけではありません。急激な豪雨により、御幸谷川が増水する危険があります。高速度道路に関連し、雨水を貯留する対策が取られているものの、懸念が解消されたわけではありません。

全対策などの不安が出ています。新名神高速道路の延伸により、竹林の開発、トンネル化に関連し、急激な豪雨により、御幸谷川が増水する危険があります。高速度道路に関連し、雨水を貯留する対策が取られているものの、懸念が解消されたわけではありません。

美濃山一ノ谷に新たな開発計画



美濃山一ノ谷に新たな住宅開発計画が浮上しています。写真でや

左を通るのは御幸谷川で、その左側に約100戸の住宅が建っています。開発予定地は、川の右側で約110戸を建設しますが、ダンクなどの搬入車両も多く、安全対策などの不安が出ています。新名神高速道路の延伸により、竹林の開発、トンネル化に関連し、急激な豪雨により、御幸谷川が増水する危険があります。高速度道路に関連し、雨水を貯留する対策が取られているものの、懸念が解消されたわけではありません。